



六郷中だより

六郷中学校だより 第17号
令和 4年 3月25日
発行・文責：校長 深澤裕治

<六中HP>



壁は超えられる可能性がある人にしかやってこない

三寒四温を繰り返しながら、イタドリやヨモギの新芽、初つばめの飛来、昇る北斗七星、時折の春風など、春の兆しがあちこち感じられるようになりました。

先日、六郷中学校の第73回卒業式が、参加者の人数制限、常時換気等々の新型コロナ感染防止対策を徹底する中、挙行することができました。参加者が体育館に一堂に会しての卒業式となりますので、規模や内容も縮小せざるを得ませんでした。生徒数が少ないことのメリットを活かし、生徒たちの中学校生活の最後の心に残る活動となるよう、少ないからこそ実現可能な内容へと、創造と課題解決の視点で、工夫を凝らしての卒業式となりました。

新型コロナの感染症がまん延している状況では、卒業生や在校生による合唱は、残念ながら実施できませんでした。答辞においては、イチロー選手の言葉「壁というのは、超えられる可能性がある人にしかやってこない」を引用しての、今まで幾度となく自分たちの手で逆境を乗り越えてきた思いや、両親や学校生活への思いなどが、卒業生の代表らによって会場の参加者に呼びかけられました。

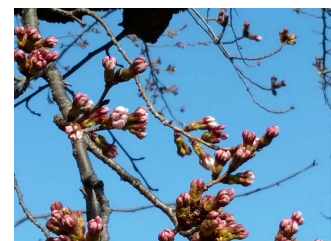
卒業式は、卒業生にとっては中学校生活を締めくくる大きな節目となりますが、在校生にとっても、卒業生から多くのことを学ぶ、絶好の場と考えています。新型コロナの影響で、1、2年生は卒業生以上に練習の機会がありませんでしたが、卒業式当日は、在校生としての意識を高くもち、態度よく式に参加することができましたので、卒業生らの姿や言葉を通して、多くのことを学び、吸収できたと思います。

本日（3/25）、令和3年度の修了式を迎えました。今年度の1年間においても、新型コロナの感染拡大の第4波、第5波、第6波を経験し、学校におけるすべての教育活動において、感染の状況に応じながらの感染防止対策を講じ、予定されていた多くの教育活動が、何らかの縮小や変更を強いられてきました。

しかし、おかげさまで、保護者の皆様への、新型コロナ対策をはじめとする、度重なる中学校からのお願いに対しまして、ご理解とご協力をいただいたことで、今年度の締めくくりを無事に迎えることができました。特に、現在のレベルでもある感染レベル3の対策として、ご家族の体調がすぐれない場合には、登校を控えていただく対応にご協力いただいたことで、大事に至らなかったケースも幾たびもありました。多大なご負担をおかけしてきことに、大変申し訳なく思いますが長きにわたりご協力いただいたことに、心から感謝しています。

春休みをはさみ、4月6日より令和4年度の新学期を迎えます。今以上に、新型コロナの感染状況が収まっていることを願うとともに、来年度も今年度同様に、六郷中学校へのご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

一年間、ありがとうございました。



六郷中の桜のつぼみ 3/25

修了式での「校長の話」です

皆さんは、どんな時に春が来たと感じるでしょうか。校長先生は努めて、自分から春を探します。例えば、もう30年近く続けていますが、誰よりも先に、その年の一番最初のツバメが見つけれられるよう、いつも3月になると、空を気にしています。そんなことを30年近く続けていると、毎年、春分の日、一番最初のツバメを見つけることが多いことに気づきました。ちなみに、今年は、一番最初のツバメ、「初つばめ」と言うそうですが、春分の日2日前の3月19日に「初つばめ」を見つけることができました。

もう一つ、六郷中ならではの「春の景色」を紹介します。それは、校舎から眺めることができる「ヤマザクラ」です。「ヤマザクラ」。気づいていましたか。六郷中学校の山田川の土手の桜は見事ですが、さらにその向こう側の山の中に、数え切れないぐらいの「ヤマザクラ」が、他のソメイヨシノよりも、一足早く、今まさに茶色い山の中に、咲き誇っています。校長先生は、そんなところに春を、いつも、努めて自分から感じるようにしています。

さらにもう一つ、六郷中の自慢話をしたいと思います。皆さんにとって、当たり前、見慣れた景色になっているかもしれませんが、六郷中の校舎の周りのプランターや花壇には、1年をとおして、季節の花が咲いています。ただ咲いているだけではありません。校舎の端から端まで、しかも、それぞれが見事に咲いています。どうして、六郷中学校には、たくさんの花が咲いているのでしょうか。

「丹精込めて」という言葉があります。意味は『何かをつくる際に、それを使う人、見る人のことを考えて、非常に細かいところまで、注意を配り、心を込めて、手間暇かけること』だそうです。「丹精込めて」。誰が六郷中のたくさんの花に丹精を込めたのでしょうか。そして、誰のために丹精を込めたのでしょうか。

ぜひ皆さんには、丹精を込めた人の気持ち、丹精を込められているものの素晴らしさに、気づく人、気づける人に、ぜひ、なってください。ぜひ、なれるように、目指してください。

1年間の締めくくりの時期を迎えていますので、皆さん自身の1年間をしっかりと振り返ってほしいと思っています。2学期の終業式にもお話ししましたが、中学生ですので、何かについて「頑張った」「よくできた」ととどまらず、何か「挑戦してきた1年だったか」どうか、そして、何かを「継続してきた1年だったか」どうか、ぜひ、2学期同様に、振り返ってみてください。

さらに、今回は何かを「目指してきたかどうか」についても振り返ってみてください。「あんなふうになりたい」「こんなことができるようになりたい」「こういう風な人になりたい」など、何でもかまいません。「ああなりたい」「こうなりたい」と、一つ上を目指してきたでしょうか。目指すものに向かっていただけでしょうか。目指すものに向かって、前を向いてきたでしょうか。目指す目標、目指すべき姿、目指すべき姿勢から逃げてしまわなかったでしょうか。ま、いいか、と、誤魔化してこなかったでしょうか。

皆さんは、今日から、約10日間をかけて進級します。一つ上のステージに上がります。そこで、目指すものが、あるかないかでは大違いです。どんな上級生になりたいか、そして、どんな上級生として行動していきたいか、目指すべき姿をしっかりと考えて、4月6日の始業式を迎えてください。

校長先生からの春休みの宿題、そして願いです。